

鉄線入りガラス施工法

鉄線入りガラスのみ、バイオガラスクリーナーを使用すると白濁又はガラス内部？にたれが出る場合があります。

シリカドカーンで磨いても変化がない場合があります、テストしてみても直後に出ず、数分後に出る場合があります。修復不可能となり、ガラス交換をしないといけなくなりますのでリスクを避け鉄線入りのガラスの部分はバイオガラスクリーナーの使用をさけ、下記の要領で施工お願いいたします。

【施工上の注意点】

マイコン 88 専用パッド 125 mmを使用

シリカドカーンと同じで 50 cm四方で仕上げていく（状況判断）

養生をしっかりとる。

（特に、軒下には注意。タイルやガラスと異なり付着した場合
落ちにくいし、ペンキが剥げることもある。）

施工後は、きれいに洗い流す。



【オープン施工の場合】

希釈したバイオガラスクリーナーを使用しない。

ガラスに水をかけ、20倍に薄めた(状況判断)多目的洗剤で洗い、水で洗い流してスクイジーで水を切り
完全乾燥させ、フッ素コートを塗付する。(コーティングは従来どおりの施工法)

【R&C施工の場合】

水をかけ、多目的洗剤(希釈はガラスの状態で判断する)で洗い、マイコン88をガラス・パッド
に塗り2～3の回転でまわす。(高回転では飛び散ってしまう)

マイコン 88 作業法を熟読ください。施工店ページからダウンロードしてプリントしてください。